

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月 9日更新

事務事業名		災害支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	市民生活部	課長名	岡田 光弘
	施策	15	防災対策の推進			所属課	環境衛生課	担当者名	上村 恭子
	施策の柱	50	災害復旧対策			所属班	環境衛生班	(内線)	1142
予算科目	会計一般	款 3	項 4	目 1	事業連番 11786	根拠法令	令和2年7月豪雨災害に係る被災建築物の撤去等を自ら実施した者		
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 2年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 2年度から開始					事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	令和2年7月豪雨で被災した半壊以上の家屋等の解体・処分費が必要となる。速やかに被災家屋等の解体工事を行い、生活再建を進めるため、自費解体等に係る所要経費を償還する。
【業務の流れ】	【補助金交付事務】 現地確認 → 被災家屋等の自費解体・撤去費用償還申請書受付(関連書類含む) → 書類審査(現地調査を実施する場合あり) → 被災家屋等の自費解体・撤去費用償還決定通知書交付 → 請求書受付 → 償還金支払い 【国への補助金申請事務】 災害査定 → 限度額通知受付 → 交付申請・事業実績報告書提出 → 交付確定通知受付 → 概算払い請求書提出
【主な予算費目】	【歳入】 国庫補助金 720千円 【歳出】 負担金補助及び交付金 1,441千円
【意見や要望】	近隣住民からは二次災害を危惧する声や、今後の台風や豪雨等で更に被害が出ないか心配される意見がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	申請者が自費解体後に申請書が提出されるため、書類審査(必要ならば現地調査も実施)の上、償還決定又は償還不交付の裁定を行う。償還決定の場合は、請求書を受け、指定の口座に振り込んだ。また、国に対し補助金交付申請を行った。	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 令和2年度は令和2年7月豪雨により被災した半壊以上の家屋(1件)を対象としており事業は完了している。令和3年度について解体する家屋等がないため事業は廃止となる。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	→ ア: 解体率	(単位) % 予算の主な増減の理由 今年度は令和2年7月豪雨により被災した半壊以上の家屋を対象とした事業費のため減となった。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	被災した半壊以上の家屋等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) → ア: 被災家屋等 (単位) 棟
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	被災した家屋等を撤去(自費解体)する。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) → ア: 解体率 (単位) %
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
二次災害等の防止と近隣住民の危険回避のため実施。令和3年度については解体する家屋等がないため事業は廃止となる。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	%			100	100				
	イ									
② 対象指標	ア	棟			1	1				
	イ									
③ 成果指標	ア	%			100	100				
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円				720			
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円				721			
		(A) 事業費計	千円			0	1,441			
		(A)のうち指定経費	千円			0	0			
	(B) 人件費計	(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0			
		正規職員従事人数	人			3	4			
延べ業務時間		時間			300	860				
トータルコスト(A)+(B)		千円			1,195	4,831				

事務事業名	災害支援事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	--------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は 2年度の後評価、ただし複数年度事業は 2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 令和2年度で事業完了のため事業終了	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 令和2年度で事業完了のため事業終了	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 被災家屋の解体費用であるため、削減の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 事業に必要な最低限の人件費であり、削減の余地はなし。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 全市民が対象であるので公平公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 災害支援等は行政の責務である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

速やかに被災家屋等の解体工事を行い、生活再建を進めるため、自費解体等に係る所要経費を償還した。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>廃止   <input type="checkbox"/>休止   <input type="checkbox"/>目的再設定   <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携   <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善)   <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						